

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	志木市				
提案事業名	「商都しき」再興プロジェクト				
事業期間	令和2年度 ～ 令和3年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 定住人口に交流人口を加えた「地方創生人口」の増加				
	(成果検証の具体的な方法) 定住人口・・・住民基本台帳人口 交流人口・・・志木駅、柳瀬川駅の1日平均定期外乗降客数				
	(成果の目標値に対する実績)				達成度
	従前値 (平成30年度)	118,823	目標値 (令和2年度)	119,718	実績値 (2年3月時点)
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
	住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページに記載		

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① いろは親水公園の魅力倍増事業	○ △ ×	民間活力を活用したいろは親水公園の再整備に向けて、測量及び地質調査を行うとともに事業者公募を実施し、再整備計画の実現につなげることができた。
② 市制施行50周年記念事業【記念メディア作成】	○ △ ×	「志木市を知るならこれを見て」というメッセージを込めたふるさとPR動画を2編作成し、市公式YouTubeで公開したところ1万回を超える再生回数となっている。また、「志木市はこんなまち」ということが分かる、記念誌を12,000部作成し、広く市民等に配布をすることで郷土への愛着の醸成につなげた。
③ 市制施行50周年記念事業【ご当地グルメ開発】	○ △ ×	市内で古くから様々な行事で食べられてきた“うどん”に着目するとともに、舟運で栄えた志木市の歴史に関連した「舟運いろはうどん」を考案し、学校給食で提供することにより市の歴史を知るきっかけづくりに寄与した。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症の影響により多くの人でにぎわうはずだった市制施行50周年記念事業のイベント等を実施することができなかったことに加え、緊急事態宣言の発出等により、人流が制限されたことで志木市への来訪者が減少したため。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	新しい生活様式に対応したイベントの在り方などを再検討したうえで、今後、再整備を進めるいろは親水公園を活用したさらなる地域活性化と魅力発信について検討していく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

- 「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 $\geq$ (目標値－従前値) $\times$ 80%+従前値
- 「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値－従前値) $\times$ 60%+従前値 $\leq$ 実績値 $<$ (目標値－従前値) $\times$ 80%+従前値
- 「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値－従前値) $\times$ 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

- 「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる
- 「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある
- 「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない